

福祉行政研究室の紹介

福祉学科の皆さん！皆さんもご存知のように、福祉の仕事は福祉施設だけではなく、医療機関や行政機関、一般企業など、現代日本社会の各方面と各分野より必要とされています。しかも、本学の福祉学科は、社会福祉士国家試験対策科目の受講がそのまま公務員専門試験の対策になるという、カリキュラム上の大きな特性（メリット：長所）をもっています。福祉行政研究室は、それらのメリットを最大限に活かし、福祉の心得をもって社会貢献できる人材を育成しようと、平成 21 年度（2009 年）よりスタートし、これまで福祉行政研究室所属学生諸君すべてが試験（行政、警察、病院）に合格した実績をもっています。また研究室所属学生諸君すべてが社会福祉士の国家試験にも合格していることを付記しておきます。興味と関心のある方はいつでも気軽に担当の教職員にお尋ね下さい。

□福祉行政研究室について

2 年進級時に実施する試験（福祉行政研究室の入室試験）に合格した学生のみが入室できます。公務員試験は社会福祉士国家試験対策科目の受講がそのまま公務員専門試験の対策になります。ただし、国家試験は 4 年次終了前の 1 月ですが、公務員試験は 4 年次進級したばかりの 5 月または 6 月です。従って、公務員試験に合格するためには、実質 3 年次終了までに、公務員試験（専門試験）対策として国家試験合格レベルの実力を養成する必要があります。また、一般教養試験対策も別途必要になります。福祉行政研究室では、この辺に重点をおいた指導を行い、通常の講義と公務員試験の橋渡しを行います。

福祉行政研究室入室フローチャート

